

## 歓迎ごあいさつ



### 大森 雅夫

岡山市長

皆さんこんにちは。ご紹介をいただきました岡山市長の大森雅夫でございます。

国際観光コンベンションフォーラム 2016in 岡山が、このように盛大に行われることを心よりお祝いを申し上げます。また、全国各地から皆さん、ようこそ岡山へいらっしゃいました。心から歓迎を申し上げる次第でございます。

岡山も今、国際コンベンションに力を入れていまして、一昨年は国連のユネスコの会議に 97 カ国 3000 人の方々が、ここ岡山にお集まりいただいたのですが、今年も日本と中国、韓国の地方政府の首脳の集まる会議がこの秋でございます。昨日ちょうど、同じこの会場で下打ち合わせをさせていただいているところでございます。

国際コンベンション、また、国内のコンベンションをできるだけ多く岡山の地でやらせていただきたいと思っていますところではありますが、今回のテーマのスポーツもまた同様であります。昨年は、少し遅ればせながらというところはあるのですが、第 1 回の岡山マラソンを実施させていただきました。約 15000 人のランナーの方々と、私も走らせていただいたのですが、非常にすがすがしい、気持ちの良いマラソンだったというように思っております。それから今、2020 年の話が出ていましたが、このオリンピック・パラリンピックに向けて、事前の合宿地にも手を挙げています。陸上競技、バレーボール、そして柔道と、国際基準にあった施設があるということで、手を挙げているところであります。

その他、会長からの話もありましたが、トップチーム、サッカーでは J2 のファジアーノ、そしてバレーボールのシーガルズ、こういったことを中心として、様々な形でのコンベンションをやりたいと思っている次第でございます。

岡山は、古代、吉備国からの様々の歴史をもっております。また瀬戸内の幸、そしてこの温暖な地でのフルーツ、美味しいものもいっぱいある所でもあります。そのように、コンベンションの誘致をこれからできるだけ進めたい。全国各地の皆さま方も、同じ想いをお持ちだろうというように思います。お互い知恵を出しながら、切磋琢磨をして、より良い我が国にしていければというように思っております。今日は、できたばかりのスポーツ庁から、仙台参事官よりその辺りのところもお話いただけるのではないかと考えているところであります。皆さんぜひ、一緒に力をあわせて、国際観光コンベンションフォーラムを良いものにしていきたいと思っております。

最後になりますが、国際観光コンベンションフォーラムが、ますます大きく良いものになっていくことを祈念するとともに、ここにおられる皆さん方のご健勝・ご多幸を祈念して、冒頭の御挨拶とさせていただきます。今日はおめでとうございます。